

### ■ iCATをお知りになったきっかけは何でしょうか？

以前使っていたインプラントシミュレーションソフトは、DICOMデータの変換が制限されていたり使い勝手が良くなって、他にないかと思っていた時にiCATから「LANDmarker」が発売されて購入したので、それがきっかけかな。動作が軽快で直感的に使いやすく、よくできたソフトだと感じました。ですから良いイメージがありました。

### ■ 歯科用CTを検討し始めたのはなぜですか？

歯科用CTが無いところは総合病院に医科用CTの撮影を依頼していたのですが、インプラント埋入部位の骨幅、位置関係の確認程度にしかならない精度でした。歯科用CTが出始め、導入されている医院に撮影してもらおうと、比べ物にならないほど画像が緻密で、得られる情報量も段違いでした。患者さんにCT撮影のために他院まで行ってもらうのも負担ですし、自院にCTがあればその場で撮影、診断ができますので検討を始めました。

### ■ CTをRevoluXにされた決め手は何ですか？

CT単独の装置であればCTの性能だけでいいのですが、X線室の広さの関係上CT・パノラマ複合機が必要で、複合機でパノラマの画質が前の装置より劣るのは嫌でしたので、これまでのクオリティを残しつつ、さらにCT撮影をというのが選定条件でした。RevoluXはパノラマの画像が前の装置と比べて遜色ないどころか、むしろきれいなぐらいで、CTの性能ももちろん充分なレベルでしたので選定しました。アフターサポートも大事ですから、レスポンスの良さとかを周りで使っている人に聞いてみて不満が少ないところをと思って（笑）。サポートの方は最初にOS関係で少しトラブルがありましたが、いろいろテキパキとサポートしてもらったので満足しています。

あとは他社との連携が柔軟だったのも決め手のひとつですね。これまでのものが使えないと、何か変えるときにシステムごと全部変えないといけませんので、個々で変更できる対応力は助かりました。

### ■ 実際に使ってみて良かったと思うところはありますか？

撮影はもちろん自分で行いますが、患者の導入やセッティングはスタッフが行います。前のパノラマ装置は位置決めを細かく設定できたのはいいのですが、そのため逆にスタッフの癖のようなものが出ていました。RevoluXの設定はデフォルトの状態でも位置決めのはらつきがなく操作性がよいと思います。CT購入の目的としてはインプラント診断がメインでしたが、使ってみると歯周病や感染根幹処置などでも2Dより3Dで得られる情報量が多いので助かります。

### ■ ご診断で変わったことは何かありますか？

どんな症例でもCT撮影するわけではないのですが、パノラマだけでは判断しづらい時に、デンタルを工夫して撮影したりしていたものがCT撮影だと一目瞭然です。また、GIDORAできちんとCT値がわかるのもいいですね。シミュレーションの際に骨が軟らかいとわかると初期固定を得る工夫を考えたり、固い場合はドリルが操作しづら

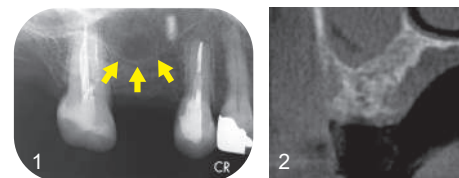


いだろうなどと事前にわかっている安心感があって、術中のストレスが違います。

患者さんにはパノラマよりも立体画像でお見せした方がわかりやすいようで、患者説明にも良いツールが増えた気がします。

### ■ 今までならインプラントをしなかったかもという症例もありますか？

インプラント治療ではこれまでも必ずCT撮影をしていたので、そこは大きく変わりませんが、CT画像が手元に届くまではデンタルとパノラマの画像のみだったので治療法の決定まで少し間がありました。例えばこの症例はデンタルでは上顎洞底が下がって見え、埋入深度が短いかな、としかわかりません（図1）が、CTを撮るとインプラントを埋入する十分なスペースがあることがわかります（図2）。初診時にこの診断ができるのは助かります。2Dだと頬舌的な状態はわからないし、撮影角度でずいぶん画像がかわってしまいます。CTは様々な位置に断面を移動して確認できるのがいいですね。



デンタル（図1）では上顎洞が下がっているように見える。CTの頬舌側断面で確認すると十分に骨があることが分かった。

### ■ 今後のiCATに望まれることは？

デジタル機器は急速にいろんな製品が出てきますが、全体をシステム化するには同じメーカーで統一を求められることが多いです。レセコンの都合でOSをVerUpしたらレントゲン機器すべての交換を要求されるということもあります。RevoluXの導入では他社のIPスキャナーをうまく新しいシステムに入れてもらえたので助かりました。今後もこういった対応に柔軟な会社であり続けてほしいですね。

本日はお忙しいところお時間を頂戴しましてありがとうございました。